創立130年記念事業資金募金寄付者芳名

2009年1月1日～6月30日

専修大学は本年9月に創立130年を迎えます。

3大学の更なる発展・充実を図るため、2005年（平17）4月に「創立130年記念事業資金募金」を発足させ、広く募集を行っております。

2009年（平21）3月までに、法人・団体388件・3億7982万2483円、個人5076件・3億5902万95円、合計5464件・7億3884万2578円の浄財が寄せられました。

寄付金のお申し込み、お問い合わせは「専修大学募金局」☎03（3265）3157へお願いいたします。

▲日高義博理事長・学長に寄付を渡す応援団OB・OG会の高埜鐵雄氏（昭30商経・名誉会長）、大森康生氏（昭51経済・会長）、片山紀久郎氏（昭38商経・顧問）＝左から

法人・団体

㈱アマタケ様
EN大塚製薬㈱様
石巻専修大学育友会様
㈱遠藤商会様
小田急バス㈱様
㈱北日本銀行石巻支店様
㈱サンコール様
シダックス
フードサービス㈱様
㈱七十七銀行石巻支店様
ジョンソン
コントロールズ㈱様
㈱セノン様
専修大学育友会様
専修大学応援団
OB・OG会様
専修大学校友会石巻支部様
専修大学校友会
宇部・山陽小野田支部様
専修大学校友会川口信用金庫
緑友会様
専修大学校友会相模原支部様
専修大学校友会城東・
城北地域支部様
専修大学校友会仙台支部様
専修大学校友会
千葉県支部連合会様
専修大学校友会
成田・栄支部様
専修大学校友会二鳳会様
専修大学34会様
専修大学体育会
アーチェリー部OBG会様
専修大学体育会
漕艇部緑漕会様
中立電機㈱様
東京ケータリング㈱様
東光電気工事㈱様
東北総合サービス㈱様
㈱ニューピーアール様
㈱美唄未来開発センター様
美唄ロータリークラブ様
邦光堂様
特定非営利活動法人ポリシリ
カ鉄凝集剤普及協会様
丸善㈱仙台支店様
みやぎ登米農業協同組合様
㈱モスフードサービス
東日本様
森永フードサービス㈱様
ヤマカノ醸造㈱様
㈱山下設計様

個人

◇校友・一般篤志家・教職員
ほか

相澤 浩美様
赤川 雅志様
浅野 紀夫様
浅見 幸正様
麻生 薫様
阿部 憲二様
阿部 知顕様
綾 皓二郎様
新井 勝紘様
荒井勇三郎様
石井 利光様
石垣 亮輔様
石川 栄一様
石川 勝一様
泉 正明様
市川美佐男様
伊藤 隆敏様
伊藤 健宏様
伊東 正様
伊藤 宣生様
糸満 克哉様
井上 達也様
井上 洋様
猪浦 英行様
今井 哲也様
今井 良香様
岩井 宜子様
岩﨑 彰生様
上杉 敬治様
浦 和久様
榎本 茂様
榎本 世彦様
遠藤 誠一様
遠藤 知美様
遠藤 秀男様
円入 文男様
近江 吉明様
大石 茂様
大内 幹夫様
大久保雅弘様
大津 幸一様
大友 久生様
大縄 道子様
大場 徳敬様
大前 裕子様
尾方恵一郎様
小川 剛史様
小川 雅己様
沖本 正樹様
奥 浩之様
小口 邦彦様
奥村 芳雄様
尾崎 由明様
小田井勝彦様
乙津 宜男様
小野 博良様
加賀谷祐司様
陰山 和之様
蔭山 雅博様
笠井美喜代様
嵩元 友子様
梶山亜希子様
片石 秀省様
片貝 一英様
合佐昆健治様
加藤 博司様
金光 洋助様
紙谷 寶様
上別府悦郎様
川内 和也様
川上 一夫様
川崎 健一様
川島 純一様
川野登志之様
河原 慎治様
川村 晃正様
菊池 治彦様
菊地めぐみ様
北澤 克夫様
木下 晃宏様
木村 裕斗様
桐生 伸之様
工藤すばる様
倉島 孝様
栗山 規矩様
来間 敬様
黒澤 孝一様
小泉 まり様
向後美保子様
國分 義弘様
小島 昌高様
児玉 和彦様
児玉 隆様
後藤 和生様
小林 弘和様
駒村 繁様
今野 久一様
今野 健吾様
今野 久男様
金万 智昭様
斎藤 公治様
齋藤 好英様
佐伯 信應様
坂井 芳正様
坂田 隆様
相良 勝利様
佐久間雄一郎様
櫻井 秀幸様
佐々木万亀夫様
佐々木 誠様
笹原 知行様
笹目 範子様
佐藤 彰桂様
佐藤 栄一様
佐藤 眞永様
佐藤 猛様
佐藤 斉様
佐藤 広康様
佐藤 雄次様
澤元今朝男様
品川 幸治様
柴原 正幸様
渋谷 周二様
島田 了八様
島袋 用康様
清水 勝行様
志村 裕道様
下条 貞様
下山 哲二様
志和 功様
菅原 澄夫様
杉江 隆義様
杉本 生雄様
鈴木 英輔様
鈴木 春雄様
鈴木 彦太様
鈴木 英勝様
須藤紳次郎様
住 正文様
清宮 昌秀様
瀬谷 芳之様
相馬 弘年様
高木 俊之様
高木 竜児様
高桑 厚子様
鷹﨑 正彦様
高崎みつる様
髙階 政雄様
髙津 宣夫様
高取 和行様
高橋加寿夫様
高橋 一夫様
高橋 穂様
武市 弘様
武田 実様
田坂 公様
田中 正志様
田中 實様
田邉 香様
谷村 武三様
田畑 篤志様
田村 真介様
千葉 茂志様
辻 悟一様
恒次 知美様
當麻 光二様
遠田 辰芳様
斗澤 雅彦様
戸羽 輝之様
土門 洋介様
中澤 邦彦様
中瀬 継雄様
中田 秋美様
中野 育男様
仲道 誠治様
中村 圭一様
中村 大志様
中村 宏司様
那須 大誠様
那須ちひろ様
波岡 實様
奈良 信輝様
鳴海 史高様
西方 守様
西坂 靖様
西澤みどり様
西村 康幸様
西山 哲平様
新田 恒裕様
根本 泉様
野口 晃男様
芳賀 信幸様
橋本 啓様
橋本 勝美様
橋本 剛宗様
長谷川真巳様
長谷川睦裕様
葉田 真介様
濵口 昭廣様
林 昇一様
林 隆平様
林 廣様
原澤 泰様
原上 学様
平井 崇志様
平尾 光司様
平川 幸雄様
平野 薫様
平野 直弘様
平野 隆一様
深澤 廣和様
福留 裕太様
藤谷 健治様
藤村 仁子様
藤本 雅一様
藤原 主計様
古川 敬様
帆刈 實様
星 忠男様
細井 進様
前川 尚史様
真壁 幸夫様
牧 國司様
増田 真悟様
増田 隆様
増山 拓彦様
町田 進様
松下 耕三様
松田 健様
松田 孝子様
松平香寿紀様
松原 豊様
松本 峻様
丸岡 章様
丸岡 泰様
三浦 英郎様
水岡 健二様
三森 敏正様
三原 直人様
宮嵜 厚様
宮原 晶文様
三好 幸治様
三輪 陽通様
武藤 拓矢様
村田 邦行様
本村 德見様
百瀬 斌様
森 理枝様
森本信太郎様
森脇 敏夫様
諸角 弘様
矢木鈞一郎様
八木澤禎一様
八鍬 源治様
安原 毅様
栁澤 直樹様
柳瀬 謙作様
柳瀬 大輔様
矢野 建一様
山口 潔様
山口 泰生様
山崎 省一様
山根 豊子様
山本 静様
山本哲二郎様
横澤 脩夫様
横島 武彦様
横山 武夫様
吉川 徹様
吉田 伸江様
吉野 宏司様
與田 洋史様
若月 昇様
渡邉 昭延様
渡辺 東右様
渡部 光様
和藤 繁男様

◇在学生父母
専修大学・石巻専修大学・
専修大学北海道短期大学

赤嶺 盛昭様
阿久津貞夫様
飯干 雅章様
石井 誠様
伊藤 和彦様
西筋 光則様
遠藤 正平様
大友 公二様
小笠原雅司様
角内 康彦様
鎌崎 秋弘様
金成 道夫様
宜野座朝美様
鯨井 隆夫様
工藤 和幸様
工藤 季子様
小瀧 義博様
境 毅様
酒井まゆみ様
佐々木 毅様
佐山 昭二様
澤井 祥典様
鈴木 明様
相馬 浩之様
田島 剛様
張 光雲様
簗地 輝男様
土井 道子様
中西留美子様
中村 晃様
長谷部重美様
林 統様
坂東 玉喜様
比嘉 康典様
星川 賢司様
牧野 仙一様
松岡 龍一様
松林 勤様
三平 宗憲様
森田 幸子様
湯浅 博之様
湯山 祥示様
若林勇喜雄様

2009年度新入生父母

専修大学

愛木 執様
浅野 健様
井伊 吉博様
石田 義俊様
石母田正芳様
伊藤 公二様
伊藤 好和様
岩井 正彦様
大木 勝隆様
大河戸初雄様
大場 敬子様
奥村 三郎様
河合 一男様
河添 清様
菅 修一様
君和田 淳様
工藤 修弘様
倉本 弘美様
河野 正宏様
小林 道隆様
坂吉 英利様
佐々木 茂様
佐藤 啓様
清水 通浩様
庄子 幸夫様
鈴木 達雄様
鈴木 宏様
鈴木 義和様
曹 永治様
高橋 進様
高見 秀司様
滝沢 晃様
竹本 博志様
谷口 稔様
田村 友一様
當銘 恵榮様
長島 久和様
長田 幸男様
中西 正博様
中村 晃様
中村啓一郎様
中村 哲男様
野口 敏光様
花崎 直樹様
濱屋 勇様
林 栄春様
原田 和之様
平谷 博利様
福田紳一郎様
丸山 義久様
三澤 和雄様
安田 秀男様
安田 靖様
山口 雅士様
大和 良江様

石巻専修大学

相原 忠男様
和泉 博章様
小野寺 東様
小野寺正孝様
今野 光男様
菅原 正己様
東海林義典様

北海道短期大学

岡田 義弘様
古俣 敏様
酒井 馨様
佐藤 力様

日独でネット通じ「日本学」共同授業

文・板坂ゼミ

文学部の板坂則子ゼミは、ドイツのフランクフルト大学や韓国の大田大学との間で、インターネットを利用したリアルタイムの「遠隔地授業」「共同授業」を行っている。

7月6日には同ゼミ生30人が参加して、フランクフルト大学の「日本学」研究者のギド・ヴォルデリンク准教授、学生6人とネット共同授業を行った。ドイツとの時差は7時間。当日は「ネット会議システム」の接続状況が悪く、開始が遅れたものの、日本時間午後4時過ぎには授業が始まった。双方の大学紹介のあと「若者と文学」をテーマに発表、なごやかな授業となった＝写真。

参加した学生は「ドイツの学生たちが分かりやすいよう言葉遣いに気を配った」（山中久代さん・4年次）など資料作りの苦労を話していた。

板坂ゼミを中心に文学部日本文学文化専攻は、2003年から台湾の輔仁大学、イタリアのベネチア大学など約10カ国と「ネット授業」を展開。学生たちは、海外の研究者や日本文学・文化を専攻する学生たちとの交流により、専門の学問を幅広い視野でとらえている。

後期授業でも引き続き多数実施の予定。

緑地帯

日本人と形（かた）

先日、「武道の国際化を考える」をテーマにした討論会に参加した。そこで、ある留学生から私が想定していなかった意見が出された。「武道には自由がない。例えば剣道は打突部位が4カ所しかない。これが海外で理解されにくい部分ではないか」と。これに対して、即座に別のパネリストの方が次のような表現を使って回答してみせた。

「日本には俳句という詩があります。五七五の音節の形（かた）から成り自由度が少ないように思えるかもしれませんが、その詩の数は無限にあります。それだけでなく、短い詩でありながらも人の心を強く打つような詩が今でも数多く作り続けられています。武道における形は決められた数しかないかもしれませんが、形が決められているからこそ、その深みが増すのではないでしょうか」

形があるのは武道に限ったことではない。俳句や短歌のような詩句、茶道や華道、書道、能や狂言、歌舞伎、落語なども独自の形をもっている。これらを学ぶ場合には「学習」や「練習」とは言わず、「稽古（けいこ）」という言葉を使う。形をもつ文化独特の考え方で、「古（いにしえ）を稽（かんが）える」という意味があるという。

稽古とはそれぞれの文化がもつ形を身につけることであり、日本人は形が深みを増す方法であることを昔から知っていたのだと、その時に想った。

「形を持つ人が形を破るのが型破り。形がないのに破れば形無し。」これは、無着成恭の言葉である。自分に形が身についているのか、再考してみたい。

（学生部）